

2021（令和3）年度 懇談会

富士吉田市立看護専門学校



本校は、学則 32 条に基づき教育の充実を図り学校の目的及び社会的使命を達成するため学校における教育活動の状況について自ら点検及び評価しています。これに基づき学校評価の一環として懇談会を開催しています。その結果を以下のとおりに報告します。

日時：2022（令和4）年1月31日（月）14：40～15：55

場所：講堂・インターネット会議システム使用

参加者：教職員 12 名、学生 110 名



懇談会のプログラム

- ① 校長挨拶
- ② 懇談会の目的・方法の確認（委員）
- ③ 調査結果をふまえた意見交換
(副校長、庶務課課長、看護科科长、実習調整者、健康管理委員会)
- ④ より良い学校にするための学生の取り組みについて（自治会・各学年代表からの意見・質問）
- ⑤ 副校長挨拶

懇談会での意見交換

項目	意見等
降雪時の 駐車につ いて	学生側 ：現在でも、駐車場は満杯状態。降雪時に除雪作業が入ると、駐車場の一部が駐車できなくなる。体育館の裏側などのスペースを開放してほしい。 学校側 ：体育館の裏側への道路は急な坂であり、日陰で凍ることが予測される。降雪時の乗り入れは危険。除雪で駐車できない場合に限り、玄関前の駐車を許可していきたい。（10 台程可能）
教員の対 応につい て	学生側 ：実習中に 16:30 を過ぎていても時間外対応してもらいたい。学内に戻った後、他の業務をされていて対応してもらえなかったことがある。 教員側 ：実習時間が短い中で、記録のコメントなども、交換日記のようになっている。学内に戻ってきて他の業務もあるが、実習時間を過ぎてもできる限り対応していきたい。 学生側 ：実習中は、記録の時間も確保したいため、漠然と待つのも難しいので、時間の提示をお願いしたい。
集中試験 について	教員側 ：講義終了後に試験を実施すると、通年を通して試験となる。気の休まる時がなくなる。計画的に学習して集中試験に臨んでほしい。試験前の短期記憶ではない学習をしてほしい。 学生側 ：ずっとテストが続くとしんどい。日々の積み重ねをして、集中試験に臨みたい。科目によって、1 カ月以上後になっての試験があった。期間が空きすぎても負担になった。 *集中試験を希望する学生は、会場及びインターネット会議システムで過半数以上だった。
学生証に ついて	学生側 ：学生証に生年月日・住所を入れてほしい。銀行などでの身分証明、通学証明書などに学生証 1 枚で使えるようにしてほしい。運転免許証がない学生もいる。 学校側 ：学生数は 1 学年 50 人であり、自作でパウチしたものを使用している。写真の部分に割り印はしてあるが、簡単に偽造できてしまう。また、紛失する学生もある。公的機関が発行した証明書ではないため、生年月日などの個人情報をこれ以上入れなくても良いと考えている。身分証明としては、マイナンバーカードを作成し、使用してはどうでしょう。

* 懇談会を通して、一人一人が「自分が学校のために何ができるか」「こうすれば、もっと学校が良くなるのではないか」などを考えていくことが必要であり、今後も教職員と学生間のより良い信頼関係を構築していきたい。